

Ⅲ

元気づくり

～みんなが集まるにぎやかで活力のあるまち～

- ① 氷見の食・ブランドの確立
- ② 地域特性を生かした産業の振興
- ③ 競争力の高い魅力ある観光都市の形成
- ④ 将来に夢が持てる雇用の創出
- ⑤ 多様で活発な交流の促進

① 食を生かしたまちづくり

継続	魚食文化リーディング事業費	3,052万円			
		(前年度)	3,859万円		
担当課 商工観光課		電話番号	74-8089		
1. 本市の現状と課題					
<p>魚食離れが進行するなかにおいて、市内の漁業関連事業者の減少が懸念されています。「魚食文化をリードするまち氷見」の実現をより確実、強固なものにするためには、魚食や本市が有する豊かな食を域内外に広くPRし、消費拡大による関連事業者の売上を向上させる必要があります。</p>					
2. 平成31年度事業の内容					
<p>市外からシェフを招聘し、氷見の食材を使ったメニュー開発や既存商品のブラッシュアップを図ることで、食のブランド力を高めます。また、昨年スタートした県外の特産品販売店で料理教室の開催や、食に関する体験型観光プログラムを充実させることにより、氷見市への誘客と消費拡大を促進します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
消費の拡大により、生産者、販売者の事業経営の安定化を図り、未来にわたり本市の豊かな食文化を守ります。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	1,517	経費内訳	負担金	2,856
	基金繰入金	1,500		報償費	125
	市の負担	35		その他	71



継続	食都四季を彩る氷見三昧開催事業費負担金	60万円			
		(前年度)	60万円		
担当課 商工観光課		電話番号	74-8089		
1. 本市の現状と課題					
<p>四季折々の氷見の海・山・里の幸の魅力を多くの人に知ってもらい、食文化の発信、交流人口の増大に資することを目的に実行委員会を構成し、負担金を財源として「氷見三昧御膳」のキャンペーンや出向宣伝などを実施しています。</p>					
2. 平成31年度事業の内容					
<p>氷見三昧御膳「初夏編」、「秋冬編」を実施します。北日本新聞紙上で店舗紹介や広告によってPRします。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
県外からの交流人口を増やすとともに、氷見三昧御膳の提供数を増やします。					
(単位:万円)					
財源	市の負担	60	経費内訳	負担金	60



① 食を生かしたまちづくり

継続	きとくと食文化発信事業費	47万円
		(前年度) 205万円
担当課	商工観光課	電話番号 74-8089

1. 本市の現状と課題
氷見市における地産地消の推進や市民の食の安全への意識を高めるために、「きとくと氷見食のまちづくり条例」に基づき、氷見の食材を用いた料理教室や伝承料理などを開催し、郷土の食材や食文化への理解を深める「食のまちづくり」を進めています。

2. 平成31年度事業の内容
「きとくと氷見地産地消推進協議会」(事務局:市)に委託し、子どもたちを対象とした「氷見の食材を用いた料理教室」などの食育体験教室を実施します。

3. 目標値または実施により求める効果
氷見の食文化への理解やその継承、郷土愛の醸成を図ります。

(単位:万円)

財源	市の負担	47	経費内訳	委託料	47
----	------	----	------	-----	----



きとくとキッズお料理道場

継続	食イベントによる氷見の魅力発信事業費	500万円
		(前年度) 500万円
担当課	商工観光課	電話番号 74-8089

1. 本市の現状と課題
氷見の「食」に期待を寄せる人々の思いに応えるイベントを企画します。そのため、昨年の来場者・出店者へのアンケート結果を元に、取り扱う食材や会場レイアウト等を検討する必要があります。近隣施設や他事業との連携の重要です。

2. 平成31年度事業の内容
ひみ食彩まつりを11月3日に、ひみぶりフェアを12月から2月に、それぞれ開催を予定しています。

3. 目標値または実施により求める効果
氷見ならではの食の提供により、多くの人々の氷見の「食」に対する期待に応え、更なる氷見の魅力の発信につなげていきます。

(単位:万円)

財源	基金繰入金	66	経費内訳	負担金	500
	市の負担	434			



ひみ食彩まつりでの郷土食コーナー

① 食を生かしたまちづくり

41万円

継続 氷見の鰯を知らう事業費

(前年度)

41万円

担当課 水産振興課

電話番号 74-8102

1. 本市の現状と課題

氷見でとれる魚の代表であるブリの美味しさを知ること、氷見の魚への関心を高めてもらいます。実際にブリがさばかれる様子を見る機会が少ないこともあり、魚食への親しみを高める取組みが求められます。

2. 平成31年度事業の内容

市内小学校を訪問し、6年生を中心に30人から100人の児童を対象にブリのさばき方を披露するとともにブリの刺身を味わってもらいます。

3. 目標値または実施により求める効果

子供のうちから氷見のブリの味を知ること、魚を食べることへの興味を高め、地産地消の推進を図ります。

(単位:万円)

財源	市の負担	41	経費内訳	委託料	41



小学生の前で鰯をさばく様子

② 氷見ブランドの創造と振興

拡充 氷見農ブランドづくり育成支援事業費			405万円
			(前年度) 475万円
担当課	農林畜産課	電話番号	74-8086
1. 本市の現状と課題			
<p>氷見市の農業は、農業従事者の減少などにより耕作放棄地が増加するなか、農作業等の組織化などによりひみ穂波やハトムギ、白ねぎ、マコモタケ、稲積梅などがブランドとして生産されています。</p> <p>氷見産農産物の一層のブランド化を推進し、農業者の育成を図る必要があります。</p>			
2. 平成31年度事業の内容			
<p>水田の土壌改良剤の散布と秋おこしによる良質米の生産や地域での農産物のブランド化の取り組みを支援します。また、農耕用大型特殊やドローンなどの農作業に必要な免許の取得や、育苗ハウスを活用した園芸作物の栽培に必要な資材購入に助成します。</p>			
3. 目標値または実施により求める効果			
<p>農産物のブランド力の向上と担い手の育成を図ります。</p>			
(単位: 万円)			
財源	市の負担	405	経費内訳



育苗ハウスでのイチジク栽培

継続 氷見牛ブランド支援事業費			1,284万円
			(前年度) 1,386万円
担当課	農林畜産課	電話番号	74-8086
1. 本市の現状と課題			
<p>氷見市は、富山県では最大の肉牛生産地であり、その高い肥育技術によりA5等級の比率が、全国平均を上回る高い品質を誇っております。この氷見牛の美味しさをより多くの方に味わっていただくとともに、氷見牛の生産基盤の拡大、ブランド化に努めております。</p>			
2. 平成31年度事業の内容			
<p>氷見牛のブランド化の促進を図るため、親子料理教室の開催など、消費者との交流を通して氷見牛のPRを行うとともに、地域団体商標を活かした取り組みやパンフレットなどの作成を支援します。</p> <p>また、子牛の導入や肥育など氷見牛を生産する畜産農家に対して助成をします。</p>			
3. 目標値または実施により求める効果			
<p>品質の高い氷見牛が生産され、多くの方がその美味しさを味わうことが期待されます。</p>			
(単位: 万円)			
財源	市の負担	1,284	経費内訳
			負担金 19
			報償費 1



氷見牛の放牧